

Kiri「提督……じゃなくてDM!」

前回のあらすじ

House of Withered Blossom で、一番の小物の鬼ムナスカルを倒し、鬼の出生などを見、Kami に感謝され、先を急ぐ。

ジブリッシュな森にサヨナラバイバイ。Dian は Shunkichi を置いていく(シツキチ-(鳴き声))

あまり火遊びはしないでね

スゴイ・ボンサイを取り返し、Kami たちのゴキゲンを取れたところで、Forest of Spirit を出て先を急ごうとする一行。

と、その前に、Koya が Harfwol にいう。

「お前さん(の中の人) この前誕生日だったね? ダンジョンに行ってる間に Kami から材料を貰ってワンドを作ったから有効活用しておくれ」

Cure Serious Wounds のフルチャージワンドを貰った! ありがとう! Koya お手製 CLW ポーションも 26 個 / セッションのペースで湧いてくるし、戦闘間回復はかなり安定しそう。

キャラバンは森を進む。これ以降は特にランダムエンカウント等はないらしいが、行程に応じたイベントは起こる模様。

ある日突然幽霊が現れ、Risaka に取り憑こうとする。WillSV で 1 を振る定番の展開。

現れたのは斧を持った人間の男で、Bokeghan the Breaker と名乗る。取り憑こうとする前には斧で人間の肉をガッシュガッシュしている光景がみられた。コワイ!

取り憑かれた Risaka は Mind Ability 系スキルすべてに -2。代わりに 10 ラウンド Rage 可能。Will で Natural 1 を振った時は DM に申告せよとのこと。

ペナルティがスキルだけでよかったね。

その付近で、Risaka がなんか怪しいベリーを見つける。Dian が鑑定すると、これが毒を持つてることがわかる。食うと発狂するようだ。Bokeghan はこれで狂って家族を殺してしまったようだ。その事実が分かり、Bokeghan は若干成仏しやすくなったようだが...Risaka だと望み薄か。

行程中に夏至祭の日になったので、キャラバンでもその祭りを行おうと Risaka が提案。

Desna の夏至祭は、キャンプファイヤーを焚いてその燃え尽き方から占いをし、星を見るイベントのようだ。まあすなわちデートタイム。

Kiri「Ameiko は) この空の星すべてをあわせたよりも綺麗だよ」

Ameiko「うん」

...RelPT+1

Harfwol「ちょっとホームシックだな...」

Koya「旅をすることはヴァリシア人の誇りだから、お前もきっと誇れる時が来るよ」

...RelPT 増えず

Curro 「Shalelu さんも星を見て位置を確認したりするんです？」

Shalelu 「でも知らない土地だから星の並びも違うね」

Curro 「知らない星もあるかもね。そういう星を Shalelu さんと一緒に見れてよかった」

...RelPT 増えず

Risaka 「ロケット花火飛ばしていい？」

Koya 「そういう祭りじゃないから」

所長 「.....DMって大変ッスね...」

Rosetta 「こういう旅って寂しい感じはないかい？」

Ulf 「俺には迫害されていた記憶があるから... (Karsgald に置いてきた妹分のことを思い出す) でもそんな寂しくはないぜ」

Rosetta 「Minkai には私達の居場所もあるかもね」

...RelPT+1

Risaka 「こういう祭りしたことある？」

Spivey 「小さい身体だからこんな大きな焚き火はしたことないなー」

Risaka 「ぼっち充だもんね！でも祭り楽しいよね！」

Spivey 「うん楽しいよ (震え声)」

...RelPT 増えず

そんなこんなで夏至の夜は終わり、深い森も端が見えてくる。そろそろ Minkai 入りである。森を抜ける間に Curro は Pearl of Power I を 2 つ (自分と Kiri) 作成。

俺はレジスタンスのヒラバシ。フフ、怖いか？

森を抜けると、Minkai の玄関口、Oosogen Grasslands。見るからに大草原。

遠方には連なる山が見える。そこを目指すと、やがてレジスタンスのキャンプ地に到達。

木の屋根の掘っ立て小屋が川のほとりにいっぱい建っている。キャンプ地というには整備されているが、村というほどには整然とはしていない。田んぼもある。

北極を通ってきた異国のキャラバンは、ここではとても目立つ。キャンプ地の住人も PT から見ればみんな異国風。互いに奇異の目で見合う。

その中に、ひとり目立つ農民がいる。背の高い女の人が、カカシに向かってショートボウの訓練をしている。...農民？

Risaka 「コンニチワ」

Hatsue 「コンニチワ」

Curro 「このへんにヒラバシジローという人はいますかね」

Hatsue 「(顔をしかめ) ヒラバシ様に何か御用ですか」

Rosetta 「ヒラバシ様のご高名をお伺いしており、ワザマエを拝見したく」

Hatsue 「ヒラバシ様についてどれほどご存知で？」

Curro 「どうしてもお伝えしたいことが...」(Diplomacy チェックで1)

Dian 「理由を伝えたいのですが往来で話せることではないのです」

さすがに人目のあるところで Ameiko の正体は明かせないが、人払いにはかなり手間取る。なんとか屋根のある場所へ連れ込めた。

休憩施設の机には格子の描かれた木の板。Dian が Knowledge(local) で20を振り、Shogi というチェス遊戯だとわかる。

それは置いといて旅の理由を(Ameiko の存在を除き)話す。Jade Regent を倒すために、はるばる北極を越えて来た旨。Minkai レジスタンスの力を借りたい旨。

Rosetta は Diplomacy に失敗。Kiri は Suishen を見せ、正統後継者の意に添っていることを示すとともに、Suishen にも喋らせる。これでようやく説得に成功、ヒラバシさんにお目通しが叶った。

広間に通され、座布団に正座して(マナーについては Dian が知っていた) ヒラバシさんを待つ。やってきたのはいかにも一な感じの浪人さん。

ヒラバシさんに Ameiko についてを含めて打ち明けるが、証拠がない、反乱の余力もない、といった形でヒラバシさんは未だ Indifferent な雰囲気。

Amatatsu Seal を見せれば一発逆転だろうが、Minkai に入って重箱を開けるのはあまりにリスク。Seal を見せられないが所持していることを伝えると、ヒラバシは何を考えたのか、PC 個別への質問タイムとなる。

オンセだったので一度会議チャットを切り、個別に呼び出して質疑応答をする形だった。

質問(全員同じ):

お前は冷酷な大名に仕える武士であるとする。大名がすごい刀鍛冶にすごい大小(カタナとワキザシ)を作らせた。無害な農民を連れてきて、「この大小を用いて、一振りて人を殺せるか試せ」と言う。どうする？

Harfwol の答え:

頼まれて無害な人を殺すことはできない。そんなことするくらいならセブクする。

ヒラバシ「それではワキザシの性能しか試せないではないか」

ごめんなさい。とにかく無害な人を殺すくらいなら死を選ぶ。

他の人の答え:

Kiri 「従わない。君主が意思を変えるまで現状維持」

Rosetta 「農民を殺してセブク」

Risaka 「大小を奪って逃げ、浪人の身となる」

Curro 「君主を殺して大小を持ち、浪人の身となる」

Dian 「君主を殺して大小を農民にわたし、浪人の身となる」

どうやら、浪人という身を我々がどれだけ理解できるかという心理テストだったようだ。ヒラバシは Risaka の答えに一番感銘をうけたようで、協力的となった。

彼らは Jade Regent の政治に反発し、民とともに逃れてきた。しかし、Minkai の北方にあたるこの

辺には蛮族もいて、農民が襲われたりする。この辺の大名はその現状を見て見ぬふりをした。かつて、ヒラバシ家の祖先アキカザが建築した砦があり、そこを起点にして蛮族を退けることに成功。その内部に Sacred な寺院と兵器庫を作り、「Seinaru Heikiko」という素晴らしくセイクリッドでオリエンタルな名前をつけてレジスタンスの結束の象徴とした。

ジローもこの砦を守りたいが、今は蛮族 (Yumogu) に乗っ取られており、その部隊は城に籠ると外をうろつくの2隊あり、少人数では手を出しあぐねている。多数を逃すと、復讐に来られるからだ。

Seinaru Heikiko には、Minkai の正統継承者にしか手にできない武器がある。それを求めることで、Ameiko の真実も理解してもらえらるだろう。

...というわけで、Barbarian 討伐によってヒラバシの信頼を得るクエストとなった。

Yumogu パーバリアンの首領は Gangasum。Lady Nanbyo という Kami を信仰する。

ヒラバシとともに砦攻めの準備をしつつ、Harfwol の占い能力によって大雑把な敵の状況を知る。

どうやら隠し扉がある模様。これはキーワードのようだ。でも Undead はいないらしい。

また Divination は、「かの部族のシャーマンは自然の精や来訪者などを召喚している。自然を操るシャーマンに気をつけよ」という暗示をもたらす。高レベルドルイドがいるようだ。さすが蛮族。

Hatsue は Dian に向けて「生きて帰ったら...将棋の勝負しようね」とフラグを立てる。

砲雷撃戦、用意！

果たして、Seinaru Heikiko 付近まで来るレジスタンスとキャラバン。突入は翌朝とし、夜のうちに Harfwol が透明化・飛行・Darkvision して偵察。正門前の守衛と見張り塔、裏口ぼいところを確認。隠し扉で裏口を隠しているとしたらこういう場所だろう、という開け具合（というより他の場所は険しい崖で囲まれている）。

この情報から、裏口ぼいところに NPCs を配置し、PCs は正面から攻める方針。NPCs には合図用に花火を持たせた。

そして翌朝。突入開始。

砦の正門、前には Treant とフードを被った Humanoid。門の裏に Treant3 (頭が見えている) 門の上に矢狭間に隠れて蛮族 3。

PT を見つけると、Treant は岩を、蛮族は矢を放ってくる。しかし、遠距離すぎて投射物は当たらない。見る見る間に近接し、Risaka の銃撃は Treant の岩投げを超えるダメージを連発する。

味方が怪我をしないので Harfwol は城門を飛び越え、Str9 でありながらかんぬきを外そうとする。それとは別に Dian がスクロールから Knock を出すが、魔法使いがいると知って敵は Dian に集中攻撃、さらに Knock で城門が開放されたあとは Treant が蹴散らしを行い、打撃を与えてくる。とはいえ Risaka の中・近距離制圧力は凄まじく、ジリ貧にならずに城門を突破。

中央の広場は無人、見張り塔の見張りも引っ込んで砦内の戦闘に備えているようだ。

傷を癒しつつ、広場から入れる6つある扉のどれを攻めようかと相談。

一方そのころ...

チキンに逃げようとした蛮族どもが裏口から出てきて、裏口に控えていた NPCs と鉢合わせになる。と同時に、半透明のニンジャが岩からスウッと現れる。

「ドーモ、ディストラストです。ログを直前まで上げない者と Amatsatsu 殺すべし」

どうみてもインコのアンデッドである。事前の Commune ではアンデッドの有無は No であったが、お仕置きモンスターであればそれも仕方がない。

ディストラストは (Curro と仲良しな) Shalelu に一直線で近づき、接触攻撃を行う。HP ダメージと Cha ダメージに加え、WillSV を落とすと仲間を信頼する心を奪い (Distrust)、リレーションシップポイントを失うところであったが、二度にわたり耐える。コワイ！

チキン蛮族も Spiked Chain から足払い攻撃を繰り返して来る。

しかしそれ以前に、NPCs のスタットは前のシナリオ終了時のままの人が多く、想定以上に戦力が足りなかった。特に Koya は Lv8 で得られる多数のプロパティを失っている (ごめんなさい!!!)。

Shalelu はインコの能力に耐えつつも包囲され、アーチャーの特質を活かし切れない。味方の攻撃もダイス運が悪く、相手の DPS を越えられずにジリ貧。瀕死になった Shalelu を Spivey が Dimension Hop で救い出そうとするが、Combat Reflexes を持ったディストラストによってフィズされてしまう。そのまま Shalelu は気絶し撤退モードに。

一人も逃がさないように、との目的での裏口への NPCs 配置であったが、背に腹は替えられない。

結局逃げるのを許し、逆に NPCs は Dimension Door などで逃げ惑う。打ち上げ花火で撤退の意思を PC に伝える。Harfwol は Minor Image で「6 秒後に事情を話して」と空にメッセージを出し、その後花火の打ち上げ地点に Wind Sight を使って事情を共有。NPC は撤退し、安全なところに身を潜めた。

太陽がまぶしーよお...

NPCs は敗退し、敵が逃げ始めているということで、PCs は飛行して背後の通路に周り、そこから侵入、少しでも逃亡を防ごうとする。

東側 2 階の寝室とストレージルームには何もなし。

北東の区画、1 階の居住区には蛮族 5、ファルシオンを持ったネームドな奴 Ilgamal が待ち構える。

しかし Dian の能力で Move を与えられ速攻で接敵した Curro によって、Ilgamal が瀕死になり、さらに Fireball と Thunderburst、Curro の連続クリティカルが続いて瞬く間に片がつく。

さらに奥に行くと、もうボス部屋。

Gangasum と名乗るボス蛮族、その横には Shaman めいた奴がいる。オトモ蛮族 4、さらに Animal Companion ばい生物も (実は違った。Domain Druid は Companion を持たない)。

Gangasum は叫ぶ。Intruder！

Shaman、もといドルイドの Kamuy-Paro は開幕 Sunbeam。Curro と Rosetta が目潰しを受けてしま

い、なおも3個の光球を身にまとう。Blindnessを治癒する方法に欠けるPTはいきなりの劣勢。しかし、Sunbeamを逃れたRisakaのフルアタックとHarfwolのThunderburstを受け、Stoneskinがあるもドルイドは1Rで相当削れる。

蛮族たちは事前にFire Seedsを渡されており、Risakaに投げつける。うち1つは10d4で38点を叩きだしたりして、その結果一瞬でComplete Death。やはりドルイドは汚い。

さらに目を潰れたCurroがヒマワリされるが、Bladed Dashは逃げにも使えたようで、素早く包囲を脱したのちに壁伝いに後退。DianがスクロールでCurroの盲目を治すが、Harfwolはスクロールを取り出す暇がなく、よってRosettaは戦線離脱となってしまう。

ドルイドの連れている動物はRaijuというOutsider。電気バチバチした皮膚を持ち、Lightning Boltも使える厄介な奴。

RisakaはBreath of Lifeで死は避けるものの、囲まれた状態で倒れているため起き上がりこぼしとなる(中の方は寝落ち)。さらにWall of Fireで退路も絶たれ、なかなか厳しい。

しかし遅れて来た(交戦前にフィギュアを動かし損ねていた)Kiriがボス(Evil)に肉薄することで、ようやくこちらの火力が増す。戦線復帰したCurroとKiriの攻撃で蛮族とボス2人は殲滅、RaijuもResist Energyの掛かったKiriの前に意気消沈、なんとか死者なしで勝利を収められた。

しかし、ボスが落ちたことで敵の士気はさがり、我先にと砦から逃げ出してしまった。

もはや当初の「逃さず殲滅」の目的は達成失敗。しかしボスを討ち取ったので、彼らはしばらく無力化されたとみなしていい...ハズ。

砦を漁る剥ぐ。MWの武器がたくさん。Amatatsuの者しか開けられない容器に+1 Adamantineの剣も入っており、これがAmeikoの身の証となるであろう。

いろいろあったがとりあえず砦は奪還。さて、これでヒラバシはデレてくれるだろうか...?

最終的なポイント

Rosetta 1.2

Risaka 0.9

Harfwol 0.7

Curro 0.4

Dian 0.7

Kiri 0.2

日程

神の社出発：6月16日(197日)

Deznaの星祭り：6月21日

Forest of Spiritを抜ける：7月18日

Ronin Camp到着：7月26日

聖なる兵器庫攻略：7月28日(237日)